

リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2024年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務 雪水対策作業		会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋(株)
工期	令和6年11月1日 ~ 令和7年3月31日		作成者	小瀬 裕之
作業名称	ダンプ排雪(内・外プラ)	作業手順書	作成年月日	令和2年12月22日
使用機械 使用設備 (具体的な名称・クラスを記す)	ショベル、11tダンプ		現場責任者	自車サイン
使用工具 機器 (大きさ太さは具体的な寸法を記す)	スコップ、スノーダンプ		元請確認	
保護具	ヘルメット、チョッキ、安全靴、手袋、警笛、黄旗		改正年月日	
免許・資格等 (免)(技)(特)(準)の区別を記す	大型免許、大型特殊		作業順序 1 事前調査 2 準備作業 3 規制設置 4 積み込み 5 運搬 6 規制撤去 7 後片付け	
作業人員 (当作業に関わる役割と人員を全て記す)	責任者1人、作業員 人、運転手 人、警備員 人 特殊運転手 人、大型運転手 人、運転助手 人 合計 名			
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長) 周知会実施日			

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	△:時々発生する (1年に1回程度)	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	△△, △△, ×△	1:極めて小さい	関係者に対する周知
				○△, △△	2:かなり小さい	関係者に対する指示
				○×, △△, ×△	3:中程度	職長が確認
				△×, ×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対する指示 1=関係者に対する周知

作業項目 (誰が)	内容 主なステップ	留意事項 作業のポイント	危険性・有害性の洗い出し (予想されるミス・ロス)	可能性	重大性	評価点	リスクレベル ミス・ロス	危険性・有害性の除去・低減のための実施すべき事項の特定 (防止対策)
事前調査	作業箇所確認 周辺安全確認	危険ポイントの確認 構造物の安全確認						
準備作業	ミーティング 機械・道具の点検	健康状態の確認 免許・資格等の確認 日常点検により動作の確認						
規制設置	ショベルの作業ヤードを確保する。	矢板・ラバコンで規制設置	規制を設置する時に、雪で足が滑り転倒する	△	△	△△	3	足元を事前に確認し、慎重に作業を行う。
積み込み	ショベルを規制内へ進入 11tダンプに雪を積み込む	積み込みやすいように雪山を崩す。 ダンプを誘導して配置し、雪を積み込む	ショベルが作業中に、規制内の誘導員に気づかず接触する。 ダンプで積み込むときに、荷台から雪がこぼれ一般車両にあたる	△	×	△×	4	作業前にオベと打ち合わせをし、作業範囲に入らない。 車両が通過する時は、誘導員の合図で作業を一旦止める。
運搬	積み終わったダンプは規制から離脱し、次のダンプ配置する。	ダンプは無線で連絡を取り合い、常に規制内に2~3台を待機させる						
規制撤去	作業ヤードの撤去	矢板・ラバコンの撤去	規制を撤去する時に、雪で足が滑り転倒する	△	△	△△	3	足元を事前に確認し、慎重に作業を行う。
後片付け	洗車・給油を行い車両を片付ける							工事車両を除外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事